

ラットの解剖

生物教育における解剖授業の方法

生物の授業において解剖実験を取り入れるための準備と効果的な指導法をラットを教材に学びます。

平成26年**8月1日**(金) 10時～16時

玉川大学 大学7号館 第一生物学実験室 (2F・211)

募集定員:20名 (平成26年7月22日(火)締め切り)

※申込先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加無料 *白衣を持参ください*

<プログラム>

I. 講演「解剖実験の心構えと準備」

科学的、法的、倫理的に実施する解剖実験とは。小型哺乳動物の入手から、麻酔及び屠殺、実験後の処理について概説。

講師:玉川大学農学部 准教授 宮田 徹

II. 実習 ラットの解剖

小型哺乳動物(ラット)を用いて、消化器系、循環器系、生殖器系を中心に観察、剖出、スケッチを行います。

III. 参加者とのディスカッション

※この事業は平成26年度玉川大学動物実験委員会の承認を受けて実施しています。

玉川大学学術研究所

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8666 FAX 042-739-8663

www.tamagawa.jp